

《基本方針2》  
**みんなで守ろう！～みどりを保全・活用する～**  
 key word: 【自然環境保全】 【防災】

施策番号	施策	施策と概要	担当課	事業内容	完了予定年度	令和6年度実施内容	令和7年3月末時点進捗			
							進捗	進捗の判断材料		
①	丘陵地における自然環境の保全・活用	本市の恵まれた丘陵地における自然環境を今後も享受するため、国立公園区域、近郊緑地保全区域、県条例の保全地区、保安林区域等の法制度に基づく適切な地域制緑地の指定を継続し、適切な保全に努めるとともに、森林環境譲与税を活用した整備を検討します。	農林課	森林所有者に同意を取り、危険な木を伐採することで、適切な自然環境の保全に努める。	継続実施	危険木の伐採を行った。 伐採：3箇所	A	実施状況		
			都市政策交通課	景観法等の法規制に基づき、丘陵地における自然環境の保全に努める。	継続実施	申請のあったものについて、適切に審査した。	A	実施状況		
			都市計画課	自然公園法、近畿圏整備法の法規制に基づき、丘陵地における自然環境の保全に努める。	継続実施	国立公園区域内等内の法に基づく届出に対し、適切に審査し、県に進達した。	A	実施状況		
		農林課	農作物被害や住民の安全確保に対応した有害鳥獣対策を行う。	継続実施	アライグマ・ヌートリア防除実施計画に基づいた捕獲檻の貸し出しを行った。 アライグマ捕獲数：50頭	A	実施状況			
		都市計画課	生物多様性保全のため、特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリの防除方法等について周知・広報を行うとともに、各施設管理者に対して防除等対策の実施を促す。	継続実施	クビアカツヤカミキリの防除について、各施設管理者へ依頼するとともに当該で現地調査も行い、被害が見られた箇所について、防除を行った。また、HPや広報にて市民への周知も行った。令和7年度より本格的な防除を行うため、国に対して、補助金の申請を行った。	A	実施状況			
		土木建設課	スポーツ公園など、公園の整備を行うことで土砂災害の抑制など自然環境の保全に努める。	令和12年度	香芝市スポーツ公園の整備のため、下記事業を実施した。 委託料：6件（補償調査、分筆測量など） 工事請負費：2件（造成工事、プール施設建築工事）	A	実施状況			
		学校支援室	市内公立小学校が実施する森林環境教育に関わる体験学習の支援を行う。（野外活動センター等での自然体験は、人々の生活や環境と森林との関係についての理解と関心を深めるとともに、森林を大切にしたい気持ちを持ち、森林環境を守り育てようとする態度を育てることを目的とする。）体験のプログラムとしては、薪割り体験や丸太切り体験などがあり、キャンプファイヤーや野外炊飯、木工作品作りなどに活用する。	継続実施	市内公立小学校が実施する森林環境教育に関わる体験学習の支援を行った。野外活動センターの体験プログラムでは、学生は薪割りや木の皮むきなどを体験した。	A	実施状況			
		保育幼稚園課	児童に対して直接自然に触れ合う機会を提供することで、自然環境教育の推進を図る。	継続実施	森林環境譲与税を活用し、認定こども園3園及び幼稚園5園に木のおもちゃを購入した。	A	実施状況			
		②	河川環境の保全・活用	河川・水路については生物の生息・生育環境や良好な景観、水辺とのふれあいなど多様な機能を有することから、下水道整備による水質保全など水辺の環境を保全していくとともに、自然環境を活用したみどりのネットワークの形成などを検討します。また、水質改善に向けた普及・啓発を行います。	環境政策課	毎年2月に設定されている「大和川水質改善強化月間」に合わせ、水質改善に関する取り組みについて普及・啓発を行う。	継続実施	1月の「広報かしば」にて「大和川水質改善強化月間」に関する記事を掲載し、また取り組みの一つとして廃食用油の回収についても紹介し、普及・啓発を行った。	B	広報及びHP掲載
					都市計画課	水辺空間を含めたみどりのネットワークの形成について検討する。	継続実施	本基本計画を元に水辺空間を含めたみどりのネットワークの形成について検討した。	B	実施状況
土木建設課	毎年3月に県と連動して「大和川一斉清掃」を実施し、大和川の水質改善に向けた活動を行う。				継続実施	令和7年3月2日（日）に都市政策交通課、環境政策課及び下水道課と共に大和川一斉清掃を実施した。	A	実施状況		
下水道課	計画的に下水道整備を行い、普及率及び水洗化率を上げることで水辺環境の水質保全に務める。				継続実施	下水道管を約3.1km整備した。	B	整備延長		
③	ため池の適正な維持管理と有効性	破堤による災害リスクがあることから、防災重点ため池の調査や適正な維持管理を実施し、農業用水の確保とため池の防災面を強化します。維持管理においては、地域住民との連携について検討します。ため池の災害リスクについては、香芝市防災重点ため池ハザードマップなどで周知を行います。	農林課	国庫補助等を活用した「防災重点ため池の耐震性及び劣化調査」や「土地改良施設維持管理適正化事業」を実施し農業用水の確保と安全安心な防災対応を行う。	継続実施	市内の全防災重点ため池の進捗状況より耐震性調査、劣化調査及び豪雨調査を行った。また、ハザードマップの策定を行った。 劣化調査：12箇所、耐震性調査：6箇所 豪雨調査：23箇所、ハザードマップ策定：1箇所	A	実施状況		
			危機管理課	ため池ハザードマップについて、総合防災マップに併載することにより周知を行っている。	継続実施	出前講座等で総合防災マップについて説明する際に、掲載されているため池ハザードマップについても周知を行った。	A	実施状況		
		土木建設課	ため池を活用した洪水調整機能を付加した公園施設を整備する。	未定	ため池の貯留機能を向上させるために、基礎調査を行った。	A	実施状況			

④	農地の保全	市街化調整区域の農地については、「なら担い手・農地サポートセンター（農地中間管理機構）」と連携しながら、多様な担い手への農地利用の集積、集約化などの取組を進め、適切な保全に努めます。農業委員会において、農地利用の最適化を推進するため、農地パトロールを行うとともに、遊休農地においては所有者へ意向調査をしてなら担い手・農地サポートセンターへの登録を誘導します。市内の遊休農地を保全配慮地区に位置づけることで、適正な維持管理や利活用を促進していきます。	農林課・農業委員会	農業委員会における「農地利用の最適化推進」によって、農地パトロールを行い、遊休農地においては所有者への意向調査によるサポートセンターへの登録を誘導する。	継続実施	農地パトロール後、利用意向調査を行い、サポートセンターへ登録を促した。	A	実施状況
		市街化調整区域の農地が、広域景観の視点場となっていることから、遊休農地の解消などの対策について農業委員会等と連携し、環境保全に努めます。景観法や奈良県景観条例、奈良県屋外広告物条例等の法規制に基づき、良好な景観の保全に努めます。	農林課・農業委員会	第一種農地の判定により安易な転用に進まない状況の設定と維持に努める。	継続実施	転用申請に対し、内容を精査し、適切に執行した。	A	実施状況
			都市政策交通課	景観法や奈良県景観条例、屋外広告物条例等の法規制に基づき、良好な景観の保全に努める。	継続実施	申請のあったものについて、適切に審査した。また、屋外広告物については、電柱管理者及び道路管理者とも連携しながら、違反広告物の簡易除却を2回行った。	A	実施状況
⑤	都市農地の保全・活用	生産緑地は、良好な都市環境の形成や災害時の一時的な避難場所としての活用が見込まれることから、農地としての適正な維持管理を促します。生産緑地は年々減少していることから、新たな生産緑地の指定や面積要件を緩和することで、保全・確保を行います。	都市計画課	生産緑地地区について、良好な都市環境の形成や、災害時の避難場所としての活用が見込まれることから、農地としての適正な維持管理を促す。	継続実施	夏に現地確認を行い、適正管理がなされていない生産緑地については、書面にて適正管理指導を行った。	A	適正管理の状況
			都市計画課	年々減少している生産緑地地区について、追加指定を行い地区の確保に努めるとともに面積要件を現行の500㎡から300㎡に緩和することについても検討する。	令和5年度	令和6年度より生産緑地の新規指定を行った。年度末には、次年度の新規指定について、HPや広報紙、農業委員会で新規指定について周知を行った。	A	実施状況
		生産緑地においては、平成28（2016）年の都市緑地法の改正により、農産物等直売所や農家レストラン等が設置可能となり、平成30（2018）年の都市農地貸借法の制定により、市民農園の開設時など、生産緑地の貸借がしやすくなったことから、所有者と関係部局が連携して、生産緑地の活用方策を検討します。	農林課・農業委員会	生産緑地においては、所有者（所有者が委託する第3者も含む）が自ら多様な展開ができるよう説明誘導に努める。	継続実施	実績はないが、いつ問い合わせがあっても対応できるよう、準備を行った。	B	実施状況
			都市計画課	生産緑地における農作物等直売所や農家レストランの設置や市民農園の設置については農業委員会や農林部局と連携して活用方法を検討する。	継続実施	生産緑地所有者からの相談がなく、特段検討していない。	C	実施状況
⑥	公共施設等の防災機能の確保	みどりは、災害時に延焼遅延効果や避難場所、救援活動拠点、水害の防止や緩和、消防水利など、多面的な機能を発揮します。このようなみどりの機能を活かし、雨水の浸透・貯留を促進する取組を強化します。 <b>重点1 重点2</b>	土木建設課	香芝市防災計画にて広域避難地として位置づけられているスポーツ公園を整備することにより、防災機能の強化を推進する。避難スペースのほか、防災上必要とされる応急的な生活に対応した備蓄倉庫、耐震性貯水槽、放送設備などの設備を配備する。	令和5年度以降	避難スペースや備蓄倉庫を備えたプール施設を含めた、香芝市スポーツ公園の整備のため、下記事業を実施した。 委託料：6件（補償調査、分筆測量など） 工事請負費：2件（造成工事、プール施設建築工事）	A	実施状況
		街路樹や公園・緑地については、樹種の特性を活かした剪定や火災の延焼防止のための緑化など、適切な維持管理を行うことで、災害時の安全な市街地形成に寄与するまちづくりを進めます。 香芝市スポーツ公園や香芝総合公園などの大規模な公園の整備にあたっては、避難施設としての活用を視野に入れた整備を検討します。特に香芝市スポーツ公園については、防災上必要とされる応急的な生活に対応した備蓄倉庫、耐震性貯水槽、放送設備などの配備や災害時の避難施設やドクターヘリと救急車のランデブーポイントとしての活用も検討します。災害リスクについては、香芝市総合防災マップなどで周知を行います。 <b>重点1 重点2</b>	危機管理課	スポーツ公園については、整備完了後に、災害時の避難施設やドクターヘリと救急車のランデブーポイントとしても活用できるよう調整を図る。総合公園については、地震及び大規模な火事に対する指定緊急避難場所として指定し、市民に周知を行っている。	継続実施	スポーツ公園については、防災拠点として整備すべく、新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の申請を行った。	A	交付金申請の進捗状況
			都市計画課	【基本方針1-①共通】	継続実施	基本構想策定の際、防災機能を有するための条件整理、他公園の事例について調べた。	A	実施状況
			公園道路管理課	樹種の特性を活かした剪定を心掛けるとともに、公園外周部では火災の延焼防止に役立つ緑化に努める。	継続実施	公園内の延焼性のある針葉樹等を剪定し、延焼しにくい低木の樹種の植樹を行った。	A	実施状況